

落語「今、介護保険は…」

プロ対象に京都で初演

介護保険制度が導入されて8年。国民は5年後の改善を期待したが、政府が強行したのは利用制限や労働報酬の引き下げなど「改悪」ばかり。

その結果、「要介護者」が「要支援者」にされたり、従来のサービスが保険適用外になり利用料金は跳ね上がる等、ますます利用がしにくくなった。

そこで今日の介護保険制度の問題点を、阪野登と笑福亭松枝で作った落語が「今、介護保険は…」。

初演は（財）京都介護支援専門委員会主催で、3月20日に介護士集会で。プロはどのように評価するか？、楽しみだ。

松枝談「介護保険の改悪に立ち向かうオヨネ婆さんの姿を、折々の時事ニュースも入れ、庶民の怒りと役人の本音を赤裸々に演じます。ぜひ一度お聞き下さい」。



コンプラ落語「そして何も売れなく…」

「ギョウウザ事件」で脚光

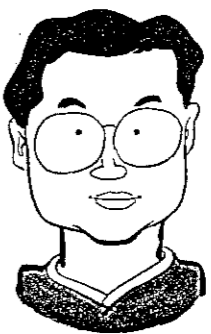
中国ギョウウザ事件で話題沸騰のタイミングを計ったかのよう発表したが、会社コンプライアンス落語「そして、何も売れなくなった」(作・奥井康弘、演者・桂福車)。今回はこの落語にまつわる話。

中国出身の料理人・陳玉麗は「メイウエンテイ、モウマンタイ(いずれも中国語で心配ないの意味)、ダイジョウブ。ミンチ3・段ボール7でも美味しい、大丈夫よ」と公言する肉まん作りの名人。

だが、会社は偽装表示の内部告発から倒産。企業の法令順守・モラルの大切さを訴えた落語。

これを全国の生協にと、ギョウウザ事件最中の2月1日、生協関係者に相談したところ「ネタもタイトルもびったりや、さすが笑工房、上手い。但し、今は原因究明でピリピリしてる、売り込みは事件が落

ち着いた後でないと『笑工房が犯人?』と疑われるよ。それにしても、笑工房は世の中の不幸を上手いこと商売にしますな」と、冗談交じりに嫌みも。この落語は笑工房と「国境なき芸能団」が共済する「旬作落語会」(繁昌亭)で、桂福車が6月11・12日に演じます。ぜひ一度お聞き下さい。



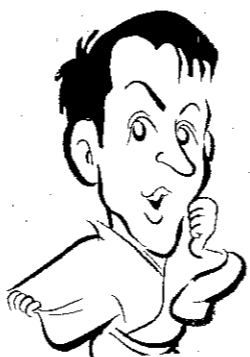
三若1年の全国武者修行終え

4・17ファイナル落語会

「武者修行に行ってきます」と、桂三若が単車で大阪を出発しこの3月31日で丸1年。各地で三百公演を果たし4月1日大阪に帰ってくる。

当日は、テレビ局や新聞社も集め17時から繁昌亭前で「三若ゴール記念イベント」を開き(野外で参加無料)、続く18時30分からは「桂三若全国武者修行ツアーファイナル落語会」を繁昌亭で開催する。一年間の苦労話や芸の上達ぶりが間近で聞けそう。

「ファイナル落語会」は前売り三三〇〇円。ご注文は笑工房に(但し、早く注文しないと完売の可能性大、返券はできません)。



京都造形芸術大で笑福亭の会

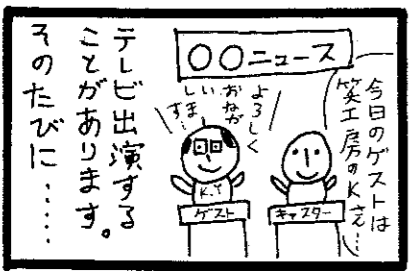
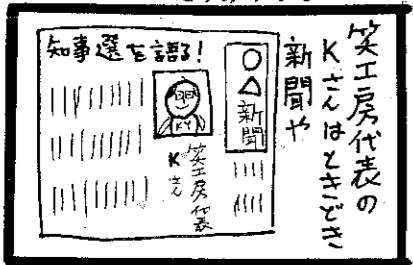
福笑・鶴笑・たまが新作

「NEW SPRING NEW RAKUGO」と銘打って、3月23日14時から京都造形芸術大学の芸術劇場で笑福亭の会が開かれる。

同校の劇場企画運営室から笑工房に持ち込まれた企画で、福笑、鶴笑、たまが出演。

福笑が「今、教育現場が危ない」と「あこがれの甲子園」、鶴笑が「不思議の星のアリス」、たまは自作の新作を予定。入場料は一般2000円。18歳未満は500円。申し込みは笑工房へ

笑工房伝(39) 笑工房のぼろぼろの記録



編集後記
吉本が三月から月々金午後「うめだ花月」で「落語」と発表に、各紙「繁昌亭に挑戦」(朝日)と◆記者会見は笑福亭仁鶴、桂きん枝、月亭八方らが並び、吉本のスターで繁昌亭建設の功労者・桂三枝の姿は見えぬ◆人気上々の繁昌亭への対抗意識が露骨◆だが、繁昌亭の客はアンチ吉本が多い◆果たして吉本の思惑が的中するか…(小)